

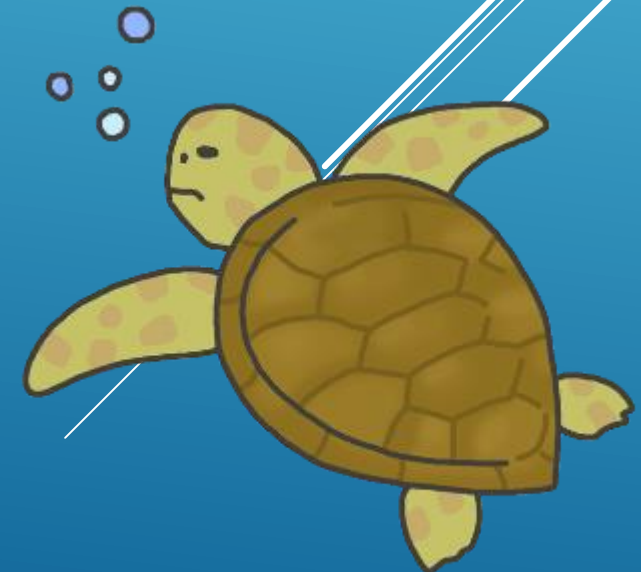
ウミガメ班

ウミガメと環境問題のかかわりについて

三重県立紀南高等学校 東紀州学履修生
ウミガメ班

目次

- 1 ウミガメに興味を持ったきっかけ
- 2 ウミガメ公園／かめっぷりの皆さんの紹介
- 3 ウミガメってどんな生物なの？
- 4 ウミガメ絶滅の危機
 - ①ウミガメの住む海について
 - ②ウミガメと地球環境
- 5 私たちが考えたこと
- 6 ウミガメアンケート



1 ウミガメに興味を 持ったきっかけ

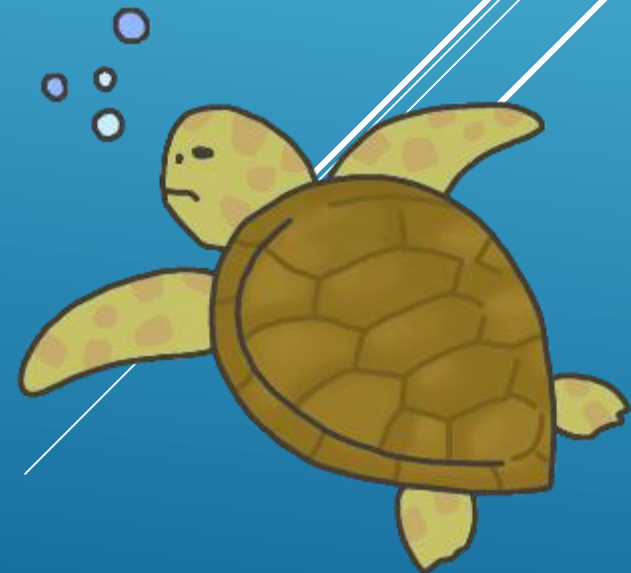
ウミガメに興味を持ったきっかけ

- 生まれた時から身近にある存在

⇔ ウミガメをよく理解していない



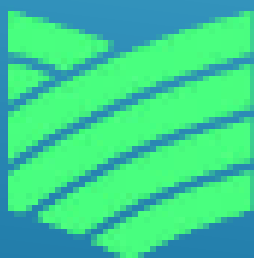
授業を通して学びたい



2 かめつぷり / ウミガメ公園の紹介

学習にあたって

★ウミガメについて学ぶ
⇒専門家の手助け



三重大学
MIE UNIVERSITY



道の駅紀宝町

ウミガメ公園

ウミガメ・スナメリ調査保全サークル
「かめっぷり」

三重大学サークル「かめっぷり」

- ・ 三重県北中部を中心に活動



- ・ ウミガメ・スナメリのストライティング調査

亀などが浜辺に打ち上げられること

- ・ ウミガメの上陸、産卵、孵化率調査など

ウミガメ公園



- ウミガメの水族館がある道の駅(日本で唯一)
- ウミガメ保護啓発活動を実施
- 実際にカメと触れ合うことも可能
- お土産、物産、レストランもあり

ウミガメ公園



★カメ公園飼育員のお仕事紹介

- ・ 混獲個体の保護

漁業の際に捕まえてしまったウミガメ

- ・ 水槽の掃除

- ・ カメの調餌(ちょうじ) ・ 給餌(きゅうじ)

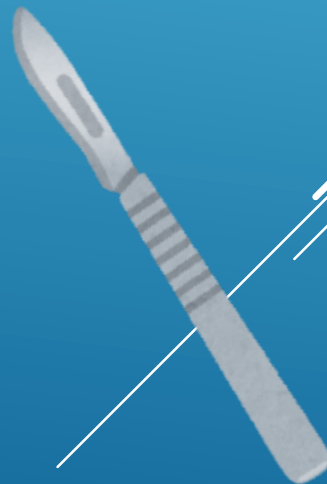
- ・ ウミガメについての調査／保全活動

・ウミガメについての調査／保全活動

ウミガメの解剖

★ウミガメ公園

ウミガメの死因を調べるためにカメを解剖



私たちもカメ公園でウミガメの解剖体験をしました

解剖に挑戦!

**甲羅と胴体のあいだに、
カッターを入れ甲羅を
切り離す作業をしました**



飼育員さん

- ×カメに餌をあげるだけ
- ◎様々な活動をしている

3 ウミガメってどんな生物なの？

ウミガメについて

形態 甲羅がきれい 顔が愛くるしい

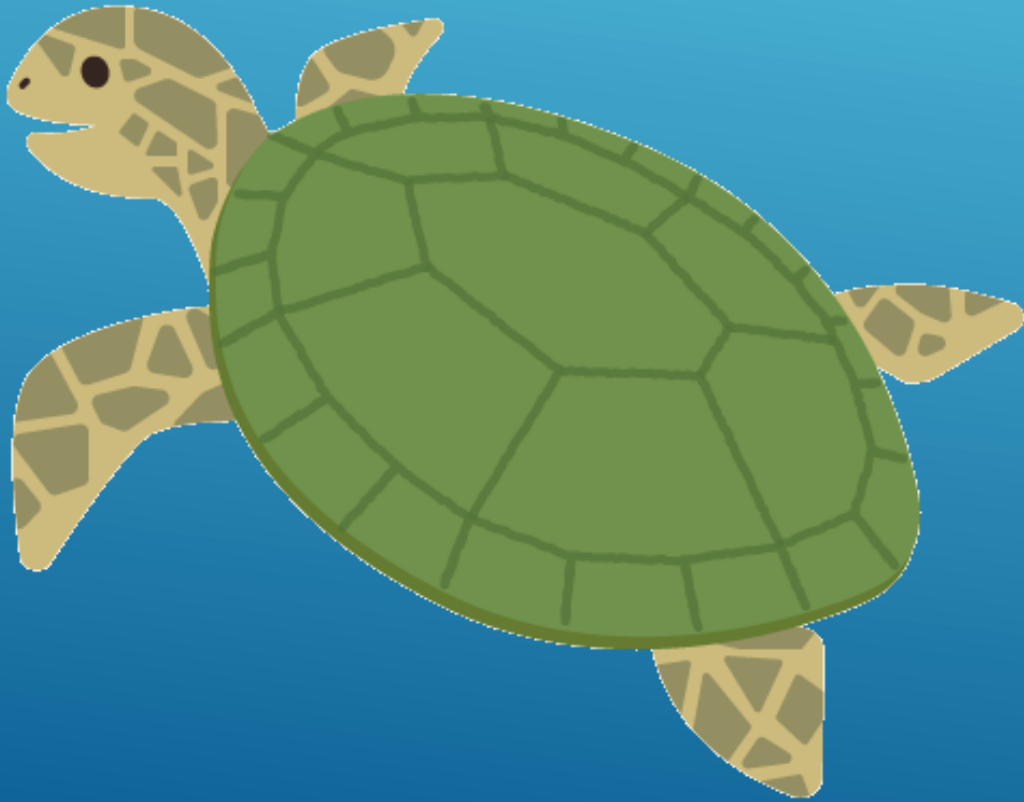
生体 最も大移動する爬虫類

種類 7～8種



ウミガメについて

ウミガメの顎の力はとっても強い！



ウミガメについて

ウミガメは全種レッドリスト入り

絶滅するおそれのある
野生生物の種の一覧

ウミガメについて

★ウミガメ特徴の中で、私たちが特に注目した点

温度依存性決定（TSD）



卵の状態のときの温度によって
性別が決定

4 ウミガメ絶滅の危機

①海的环境

★ゴミ



紀南高校が毎年
参加している
浜の清掃活動では
こんなに沢山のゴミが
出てきてしまいます…

★ウミガメにとって、脅威となるゴミ



プラスチック

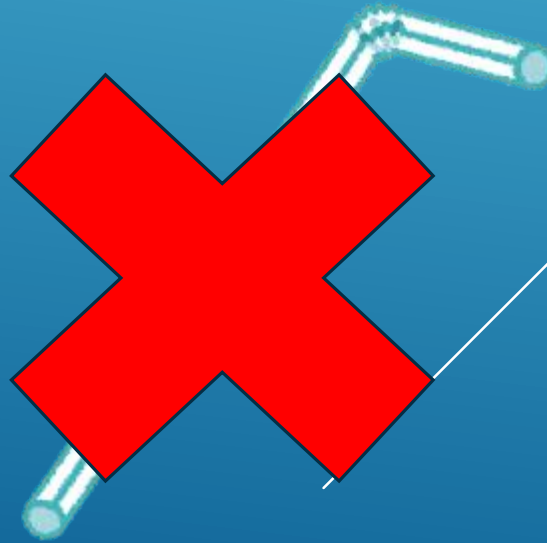
★海には年間800万トンのプラスチックごみが流れ込む

⇒2050年には海にいる魚と同じ量にまで増えると予測

(NTTグループ「つなぐコラム」)

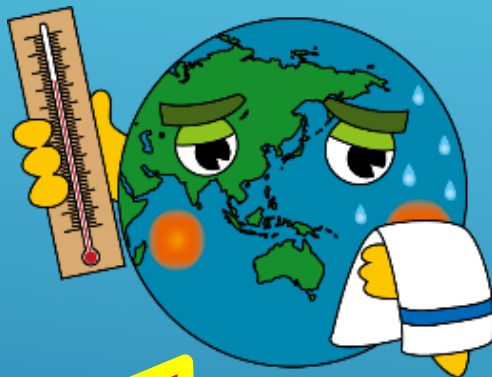
※ウミガメが誤って食べてしまうことが多い

⇒プラスチックの使用を禁止している国もある



②地球温暖化

★ウミガメ = 温度依存性決定 (TSD)



卵の周りの
土の温度で
オス/メスが
決まる

地球温暖化

地球温暖化
⇒ウミガメの雄雌比率の変化
⇒ウミガメ絶滅/生態系への影響

②地球温暖化

★ウミガメ = 温度依存性決定 (TSD)

地球温暖化

⇒ウミガメの雄雌比率の変化

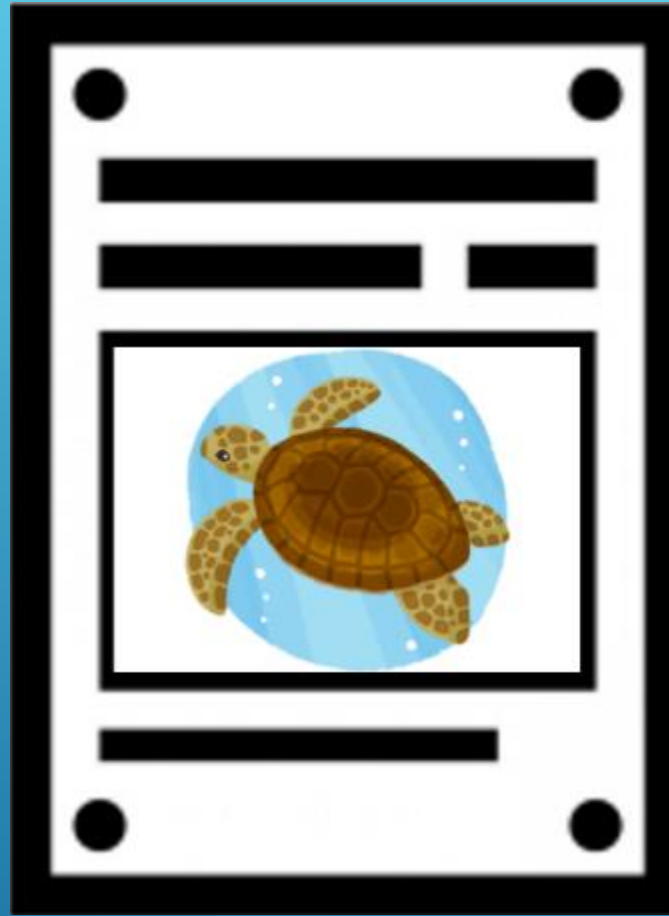
⇒ウミガメ絶滅/生態系への影響

インターネットで調べてみると、地球温暖化によって
アオウミガメがメスばかりになっていることを示す
研究結果がたくさんヒット

ナショナル ジオグラフィック「温暖化でウミガメの99%がメスに、オーストラリア」など

5 私たちが考えたこと

私たちが考えたこと



ウミガメの保護を訴えるポスターを作成
⇒啓発活動

しかし・・・


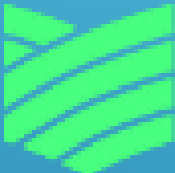

- ⇒ どのようなポスターが効果的なのかがわからない
- ⇒ 皆がどれだけウミガメの知識を持っているかを知る必要
- ⇒ アンケートを実施
- ⇒ 「効果的なポスター」について検討



6

アンケート

アンケートの対象者

- ①  紀南高校の生徒(103名)
- ②  三重大大学の学生(56名)
- ③  ウミガメ公園来園者(39名)

アンケートの時期

2019年12月～2020年1月

アンケートの内容

- ウミガメをみたことがあるか
- あなたにとってウミガメは身近な存在か
- ウミガメが絶滅危惧種であることを知っているか
- ウミガメが複数種あることを知っているか
- ウミガメの卵がTSDであることを知っているか
- 自由記述
- フェイスシート(出身地・年代・職業)

など

アンケートの結果

アンケートの結果

A ウミガメを生で見たことがあるか

⇒紀南高校生は100%（三重大生は69.6%）

⇒どこで見たか

⇒94.1%が「ウミガメ公園」

アンケートの結果

A 自由記述

- ・ **小学校の時、カメ公園に社会科見学に行った**
- ・ **中学校の頃、家族でウミガメ公園に行ってウミガメに餌をあげた**
- ・ **私が小さい頃から、カメ公園にウミガメを見に来ているので、自分の子供ができた時も、子供にウミガメを見せてあげたいので、カメ公園にずっとウミガメがいてほしいです。**

⇒ **牟婁地域の生徒はウミガメ公園を通じてウミガメを知ることができる**

アンケートの結果

B ウミガメはあなたにとって身近な存在か
⇒ 牟婁出身者と牟婁以外出身者で比較

	紀南高生(含三重大生牟婁出身者)			三重大生(除牟婁出身者)			t 値
	<i>n</i>	<i>M</i>	<i>SD</i>	<i>n</i>	<i>M</i>	<i>SD</i>	
ウミガメの身近さ	101	2.36	.828	53	1.64	.868	4.96***

	牟婁地域出身者			牟婁地域以外出身者			t 値
	<i>n</i>	<i>M</i>	<i>SD</i>	<i>n</i>	<i>M</i>	<i>SD</i>	
ウミガメの身近さ	10	2.80	.632	25	1.92	.909	2.79**

* $p < .05$ ** $p < .01$ *** $p < .001$

⇒ 牟婁出身の方が圧倒的に身近に感じている

アンケートの結果

B 自由記述

★紀南高生

- ・ウミガメで有名な地域でずっといてほしい。
- ・釣りをしていたらいい。

★カメ公園来園者(牟婁出身者)

- ・ウミガメを見ていると日頃のストレスや時間に追われているストレスを忘れることができます。ずっと見ていたい。
- ・ウミガメを見ていると落ち着く
- ・カメ公園は、他であまり聞いたことはないから誇らしく、家の近くにカメ公園あるよ～と言ってみんながびっくりしていた！

⇒牟婁地域におけるウミガメの存在は非常に大きい

アンケートの結果

C 紀南高生と三重大生でウミガメの知識について比較

- ウミガメが複数種あることを知っている割合
紀南高生68.0% 三重大生58.2%
- ウミガメが絶滅危惧種であることを知っている割合
紀南高生52.4% 三重大生66.1%

⇒統計的な関連はなかった(χ^2 検定)

⇒地元のシンボルなのに詳しく知らない

⇔牟婁地域にいる：国立大生と同じ程度の知識

アンケートの結果

D ウミガメが絶滅危惧種であることの認知度
⇒58.1% (115名/198名)

自由記述

⇒絶滅をどうにか食い止めてほしい
いつまでもウミガメが生息できるような環境が紀宝町に残るといい
ですね

⇒「ウミガメ＝絶滅危惧種」の認知度は6割程度

アンケートの結果

E 「絶滅危惧種」「複数種ある」「TSDである」

⇒知識の差が大きい

⇒表にまとめる

とても詳しい人
⇒24.1%もいる

一番多い
⇒TSDを知ってほしい
⇒“温暖化=ウミガメ絶滅”を認識させたい

		TSD◎	TSD×
絶滅危惧種◎	複数種◎	24.1%	27.9%
	複数種×	1.6%	4.8%
絶滅危惧種×	複数種◎	1.0%	13.4%
	複数種×	2.1%	25.1%

ここが非常に多い
⇒この人たちにどうアプローチするか

アンケートの結果

F 年齢や性別による差異

⇒特筆すべき項目はなかった

⇒特定の年齢や性別に対してアプローチする必要性は高くない

アンケートの結果の考察

【わかったこと】

- ◆ ウミガメは牟婁地域のシンボル
⇒ ウミガメ公園の存在が大きい
- ◆ 「ウミガメが絶滅危惧種」の認知度は6割

【今後の課題】

- ★ TSDの認知度をいかにして高めるか
- ★ ウミガメに興味がない人に対するアプローチ
 - ※ 特定の年齢・性別にターゲットを絞る必要なし
 - ⇒ ポスター等で周知していききたい(次年度以降)

ご清聴ありがとうございました

